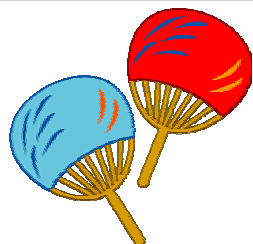




二村たか子からのお知らせ まちの声

赤坂字紅里26 電話&FAX: 87-4453
E-mail: aai96240@pop06.odn.ne.jp

ご意見をお寄せ下さい。町政に関することなど、皆さんの声も掲載したく思います。



**6月から真夏並みの暑さと、空梅雨に見舞われ、
自然の前で人間の営みのなんと無力な事かと改
めて感じます。6月議会で決まった主な事**

- 1.平成17年度医療給付費の増加に対し国から負担金としての財政手当てが、16年度中に出来なかったため、約1900万円の不足額が出た。17年度の歳入から繰り上げて充当しました。(繰上げ充用)
- 2.地方税法の改正により、町の税条例を整合させました
- 3.町消防団員の退職報奨金増額・・・2000円
- 4.議会推薦農業委員……榊原 重也さん(赤坂から選出の順番)



合併に関する話題あれこれ

- 1.豊川市の市議会傍聴・・・鈴川氏の質問に対する市長答弁
質問 一宮との合併の話題の後、近隣との合併をどう考えていくのか
答弁 誠実に柔軟に、対応。生活圏を1つにした地域で考えたいが、音羽町の場合人口1万人以下という事もあり、町の意味統一があれば、受け入れて行きたい
- 2.音羽町内に住民による合併を考える「住民懇話会」の組織が出来ました。当面は合併についての住民の意見を聞き、まとめていく事を主としているようです。 7月16日 午後3時より赤坂公民館2階にて県議や役場職員との勉強会の案内がありました。参加自由のようです。
- 3.合併後の旧市町村に地域自治区をおき総額5億の予算化をし、旧市町の地域振興のための基金が作られました。岐阜県恵那市では住民の自治を大切にしようと提案され可決しました。研修会するとき地方制度調査会の西尾 勝先生に質問したところ、各地域で条例化すれば出来る制度だとの事。……恵那市議から情報の提供がありました。

4.群馬県太田市の清水市長は合併後の地域融和のため旧庁舎を新市の部局として活用すべきだとする意見を出しています。施設の分散は経費がかさむ面もあるが、早く新市の一体化を図るためには必要との考え

5.前志木市市長の著書「市町村崩壊」より

約30年間地方議員(市議、県議)を勤めた後、1期4年、改革派市長としてたびたびマスコミにも取り上げられました。長い経験からの著作で注目すべき事をいくつか紹介してみます。



○ 市町村は倒産しないの嘘

行政サービスを膨張させた自治体は今までも苦しいときがあったが、国は保護者のように仕送りを続け、肥大化を支えてきた。

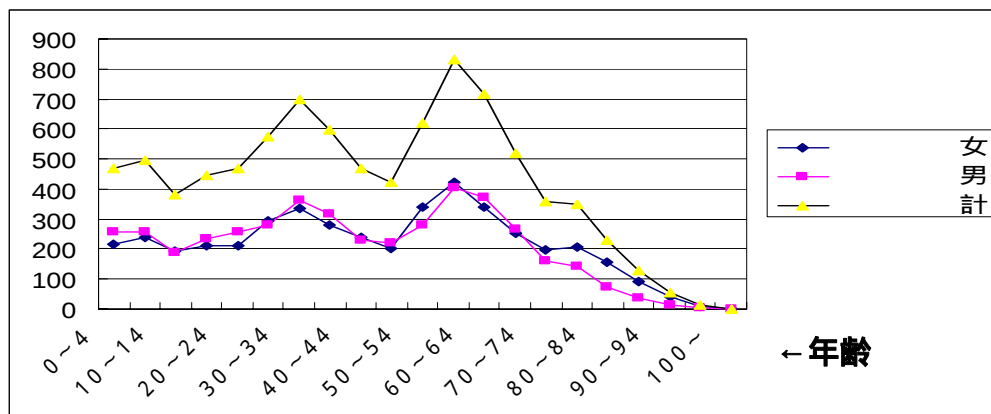
地方は国の規制により思考停止状態だったので、なんのためらいも疑念もなく、国の保護下にありました。国の言いつけを守っていれば「絶対に倒産しない」の神話が出来上がりました。今後行政サービスが大幅に低下し、住民負担が一気に増大したときに、初めて危機感が私たちに生まれるのでしょうか。

○ 平成の大合併も「地方自治の強化」といえば聞こえは良いが、政府が投げ出す内部事務の受け皿としての地方の行財政能力の強化を図ることに他ならない。財政的なつらさを住民にきちんと伝えてこなかったところに合併の破綻という悲劇が起きる。厳しい自治体の情報を知らされてこなかった住民には、合併の意義が理解されない場合が多い。

いま各自治体は必至で経費の切りつめをしているが、少子高齢化により国保の加入者増、納税者の減、削減が難しい繰り出し金(消防やごみなど)、やっと乗り切れると思うところに交付税の減額。しかも国は福祉関係費を地方に求めようとしているなど大変厳しいが、国は改革を先送りしている状態にある。など……

ここに書かれている事は志木市のことを念頭に書かれていますが、日本はどの自治体も金太郎飴といわれるように、国の指導の下で、自治体経営をしているので多少の差はあるが、ほとんどがこの問題を抱えている。音羽町も同様の傾向にあると思います。

音羽町の人口統計 17年4月1日現在



人口統計の数字から色々な事が見えてきます。皆さんでいろいろ数字を組み合わせて音羽町の姿を見つけていただければと思います。

二村の一般質問



住民基本台帳の大量閲覧の禁止か運用の見直しを

この3月名古屋で、住民基本台帳閲覧により1人親家庭を探し、親の留守中に小・中学生の少女を強姦した男が逮捕される事件がありました。又高齢者が悪徳商法の被害にあう事件や、最近は誘拐を装った振り込め詐欺をたくらむなどが近隣の市町で起きており、不安が絶えない。これらの事件などは個人情報の流出による事が多く、こうした犯罪の多発が社会不安の一因になっています。

現行の住民基本台帳法11条では住所、氏名、性別、生年月日の4項目は不当な目的でなければ、原則公開と定めています。法改正を待つだけでなく町独自の対応が必要ではないか。最近あちこちの自治体が独自の運用規定を作り始めているが、特に事件に結びつきやすい世帯構成がわかる閲覧は防げないか、大量閲覧はほとんどが商業目的であり、住民はこの情報は自己の所在確認として町に届けているもので、業者の経済行為と住民の安全どちらを優先させるのか、町の考えを伺いたい。

答弁 町長 伊藤住民課長

申請者の身分確認、目的の確認の厳格化を決め、不当利用を未然に防ぐ体制はとっている。世帯識別も出来ないよう、生年月日順の閲覧に換えたし、不正閲覧があるといけないので、すべてコピーをとり保管できるようにした。条例の整備は国の検討委員会の結果を待って考えたい現在1件100円の手数料だが値上げの検討をしていく。

質問にいたるまでの経過

3月9日の事件後、どの町でも起きうると、心配になり住民課で聞き取り調査をしました。この時点ではどの町にもある申請書と誓約書で、不当利用の危険性がある状態でしたが、6月1日付で答弁にあるような対応が出来ていました。本当にすばやく現行法で出来る対応がとられ驕アとなりました。

平成16年度中の閲覧実績3月10日までの数字です。申請数、会社13件個人2件閲覧件数は会社のみ合計2550件、公用は56件でいかに商業目的の閲覧が多いかがわかります。全人口8835人です。申請理由は教材販売、貸衣装、市場調査が主でした。申請者が実在する人で本当にその目的に利用するかどうかの確認までは厳密には出来ていない状況です。法律の改正を急がなくてはならないと**音羽町議会の全員の賛成で国に意見書を出す事が出来ました。**

6月9日の朝日新聞の三河版にこの質問を取り上げてもらう事が出来ました。早く法改正がなされて欲しいと願います。

音羽町には情報公開条例があります。皆さんもこの条例を使って必要な案件を調査する事が出来ます。(個人情報是非開示)

二村 良子の議員活動と自己研鑽



- 4月11日 議員勉強会
15日 広報編集委員会
16日 女性議会ネット・犬山市長を囲んで、ローカルマニフェストの必要性。市長は広報で、自分の公約達成率を公表しているとの事
17日 音羽町50周年記念式典
22日 広報編集委員会
25日 議員勉強会
- 5月 6日 チェコ共和国と音羽町のレセプション
8日 浜松にて講演会・クローズアップ現代で話題になった青山先生の農業(有機リン系)による環境汚染の被害の実態・臨床報告
9日 後援会での勉強会
11日 臨時会(議会)議会人事を決める。産業建設委員長に就任
12日 政務調査・大津市での議員研修・合併の西尾先生。中国で活躍する石井さん。観光カリスマと呼ばれる4人の体験談。情報が盛り沢山の研修
14日 豊橋勤労福祉会館・児童虐待の第一人者森田ゆりさんの報告会
15日 音羽の明日を考える会 町財政の見通しの説明
18日 運動公園にて親子遊びに参加。年々参加者が増加している。ボランティアの皆さんに感謝
20日 蒲郡商工会議所・市民派議員の議会報告会
22日 クリーン作戦参加・子どもさんの参加が増えてきました。
24日 名古屋自治センターにて、ボランティア(団塊世代)の補助事業の説明会。
26日 チェコの音楽会・すばらしいバイオリンの音色に酔いました
27日 チェコの音楽会
30日 穂の国ネット総会
31日 議員全員協議会
- 6月 3日 議員申し合わせ(町議会の規則)の検討会
4日 牛久保町の和楽多市の見物、地域住民の活気に満ちたまちづくり、
5日 アダプトプログラム(公園の草取り)参加
6日 後援会勉強会
7日 6月議会 全員協議会 産業建設委員会
8日 一般質問
10日 広報編集委員会
13日 議員勉強会 合併への取り組み方を議論
16日 豊川市の議会傍聴・市長の合併への姿勢 柔軟に誠実に一宮町との合併が一段落したら近隣町との取り組みを考える。音羽町も(皆がまとまれば)受け入れる姿勢である旨の答弁があった。
17日 女性議会ネット 運営会議 岐阜県白川町の「道の駅」の見学、多くの町の人に参加していて黒字経営
19日 万博 音羽の日の総リハーサル・体育館にて

